

○上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項

(平成29年3月8日学長裁定)

最終改正 令和元年10月9日

(趣旨)

- 1 この要項は、上越教育大学（以下「本学」という。）の若手教員の研究支援及び本学のグローバル化を一層推進するため、若手教員を一定期間海外に派遣し、海外での研究活動を支援するため、必要な事項を定める。

(対象教員)

- 2 対象教員は、申請年度の4月1日現在において、45歳以下の本学の大学教員で、かつ、出国時に本学の大学教員として2年以上継続して勤務した者とする。

(派遣人数)

- 3 派遣人数は、当該年度において、原則1人とする。ただし、予算の範囲内で2人以上の派遣が可能な場合は、この限りでない。

(対象となる研究内容)

- 4 当該派遣の対象となる研究は、本学の教育研究上有意義な研究であって、当該研究を遂行することの緊急性及び社会的な要請があるものとする。

(研究場所)

- 5 研究場所は、日本国以外の国・地域における大学、研究所その他これに準ずる公共的な教育施設又は学術研究施設とする。

(研究期間)

- 6 研究期間は、本務に支障がない範囲内で、日本国内の移動期間を含み、同一年度内の連続する20日以上90日以内とする。

(申請手続等)

- 7 派遣を希望する者は、別記第1号様式の若手教員のための在外研究申請書により、所属する学系長（センター長を含む。）の承諾を得て、学長に申請するものとする。

(選考等)

- 8 派遣する者の選考は、別に定める選考基準により、学長が決定する。

(候補者の決定及び通知)

- 9 学長は、派遣する者を決定したときは、申請者及び当該学系長（センター長を含む。）に速やかに通知するものとする。

(制度の利用制限)

- 10 この要項による派遣制度の利用は、原則、1人1回限りとする。ただし、本人の事情によらないやむを得ない事情で研究を取りやめたことにより、当該研究が遂行できなかった場合に限り、再度申請できるものとする。

(研究の変更)

- 11 派遣の決定後又は派遣中において、やむを得ない事情で、研究の中断、研究期間の短縮又は滞在地を変更等する場合は、別記第2号様式の若手教員のための在外研究変更申請書により学長の許可を得なければならない。ただし、事故、災害、疾病その他やむを得ない事情により出入国できない場合を除き、派遣中の研究期間の延長は、認めない。

(研究の取りやめ)

12 派遣された者は、やむを得ない事情で、研究の途中で研究を取りやめる場合は、別記第3号様式の若手教員のための在外研究取りやめ申請書により学長の許可を得なければならない。

(報告書の提出)

13 派遣された者は、研究終了後、速やかに別記第4号様式の若手教員のための在外研究報告書を学長に提出しなければならない。

(財源)

14 この要項による派遣に要する経費は、研究プロジェクト経費を使用する。

(旅費)

15 この要項による派遣制度に係る旅費は、次の各号に掲げる移動に要する交通費及び滞在費とし、当該各号に定めるところにより支給する。

(1) 在勤地から滞在地までの往復に要する旅費 国立大学法人上越教育大学旅費規程（平成16年規程第52号。以下「旅費規程」という。）に基づき支給

(2) 滞在地での滞在費 1日当たり1万円を上限とし、予算の範囲内で支給

(3) 本人の事情によらないやむを得ない事情により生じる旅費で学長が認める旅費 旅費規程に基づき支給

(募集要項及び時期)

16 学長は、在外研究実施の前年度に、募集要項を定め募集及び派遣候補者の決定を行うものとする。

(その他)

17 この要項に定めるもののほか、この要項の実施に関し必要な事項は、学長が別に定める。

附 則

この要項は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年7月12日）

この要項は、平成29年7月12日から施行する。

附 則（令和元年10月9日）

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

別記第1号様式（第7項関係）

若手教員のための在外研究申請書

年 月 日

上越教育大学長 殿

申請者

所属・職名

氏名

年 月 日生

上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項第7項の規定に基づき、下記のとおり在外研究を申請します。

記

研究題目

研究期間

研究概要

予想される成果（授業への効果等を含む。）

研究日程（滞在国，滞在地，研究機関等）

年月日	国名	滞在地 (都市)	研究機関	滞在期間 (日数)	備考

不在中の職務への措置

主な著書及び論文（別紙のとおり）

学系長（センター長を含む。）氏名	
------------------	--

（注）学系長（センター長を含む。）氏名の記入は、署名（本人自著）とする。

別紙

主な著書及び論文一覧

著書名・論文名	学会誌名・出版社名	巻・号・集 頁（－）	発表・発刊 年 月	発表者等名

(注) 1 発表者等が共同発表，共著の場合は，本人を含め，記載された順に「発表者等名」欄に記すこと。

2 1枚程度にすること。

別記第2号様式（第11項関係）

若手教員のための在外研究変更申請書

年 月 日

上越教育大学長 殿

派遣者

所属・職名

氏名

上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項第11項の規定に基づき、下記のとおり
在外研究の変更を申請しますので、許可願います。

記

研究題目

変更内容

変更理由

研究日程

新日程					旧日程				
年月日	国名	滞在地 (都市)	研究機関	滞在期間	年月日	国名	滞在地 (都市)	研究機関	滞在期間

別記第3号様式（第12項関係）

若手教員のための在外研究取りやめ申請書

年 月 日

上越教育大学長 殿

派遣者

所属・職名

氏名

上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項第12項の規定に基づき、下記のとおり
在外研究を取りやめますので、許可願います。

記

研究題目

理由

別記第4号様式（第13項関係）

若手教員のための在外研究報告書

年 月 日

上越教育大学長 殿

報告者
所属・職名
氏名

上越教育大学若手教員のための在外研究支援要項第13項の規定に基づき、在外研究が終了したので、報告します。

研究題目

出張期間

研究機関

研究概要
(2,000字程度)

研究の成果及び
授業への効果等